

第 110 回

火山噴火予知連絡会資料

2008 年 6 月 23 日

東北大学大学院理学研究科

2001年ころから継続している傾斜・歪変動傾向が、今期も続いている。

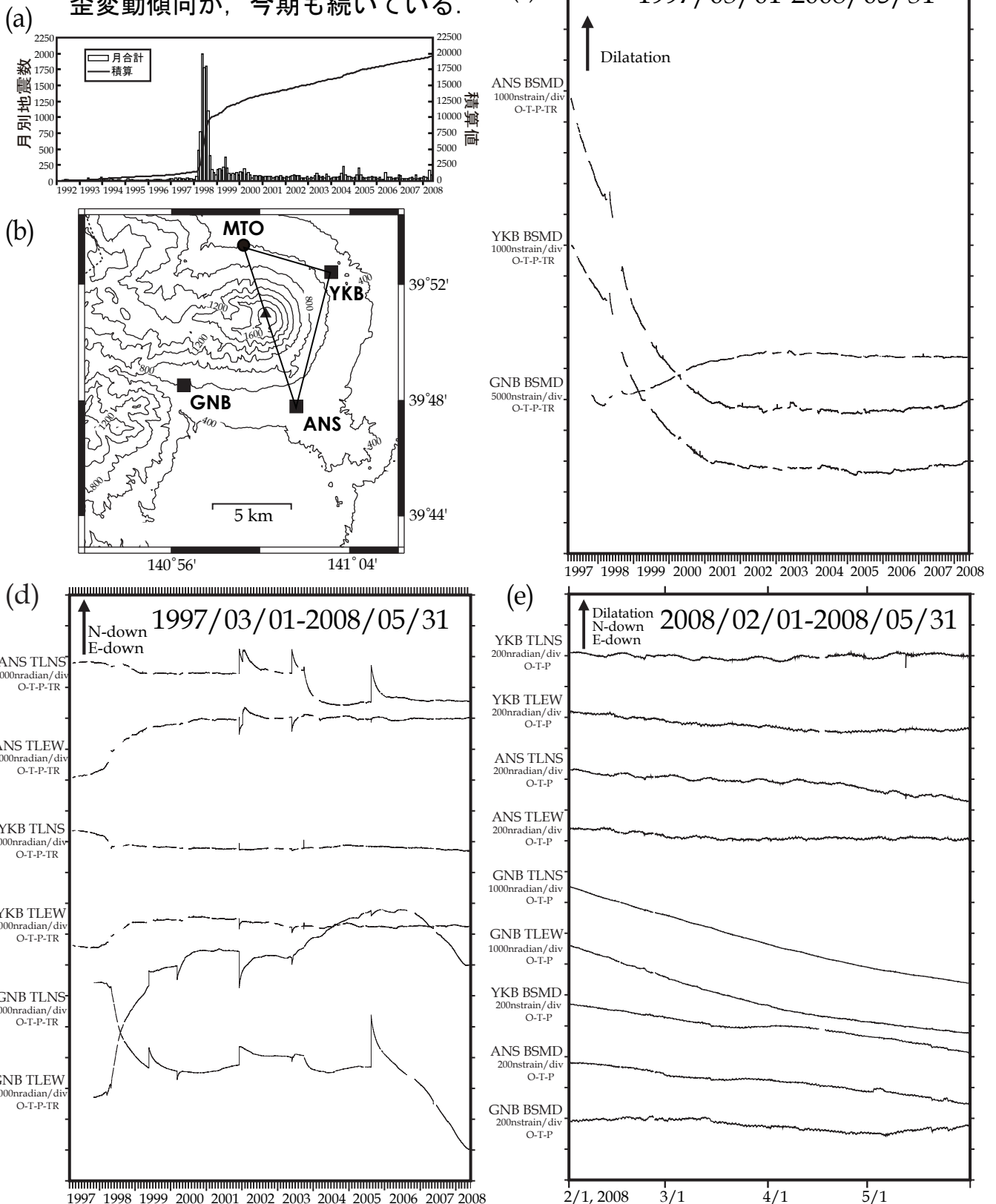


図 4. 岩手山周辺における歪・傾斜変動連続記録. (a) 月別地震数の変化 (1992年4月～2008年5月), (b) 観測点配置, (c) 1997年3月1日～2008年5月31日における歪変動, (d) 傾斜変動, (e) 2008年2月1日～2008年5月31日の歪・傾斜変動. BSMD: 体積歪, TLNS: 傾斜南北成分, TLEW: 傾斜東西成分. (c), (d) は潮汐・気圧・トレンド補正済. (e) は潮汐・気圧のみ補正済. トビをともなう変動は有感地震の影響あるいは雨の影響. 近年, 火山活動に関連した変動は認められない. 地形図の作成には国土地理院発行の数値地図を使用した. 岩手山